

コザ暴動 プロジェクト in 大阪

「都市と暴動」

KOZA-RIOT
PROJECT
IN
OSAKA

主催：「都市と暴動」シンポジウム実行委員会 共催：コザ暴動プロジェクト実行委員会 共催：人文地理学会政治地理研究部会
財源：JSPS 科研費「軍事的圧力に抗う文化的実践—沖縄とパレスチナにおける地誌編纂と景観修復」（15K12954）、同「グローバル化の新局面における政治空間の変容と新しいガバナンスへの展望」（15H03277）（いずれも研究代表者：山崎孝史）
協力：大阪市立大学地理学教室、大阪市立大学都市研究プラザ、UR-ASSIST 地域・研究アシスト事務所 後援：琉球新報、沖縄タイムス、沖縄市

科研費
KAKENHI

コザ暴動 プロジェクト in 大阪 「都市と暴動」

「コザ暴動プロジェクト」は、いわゆる「コザ暴動」を写した写真展を中心に、映画・ビデオ上映・シンポジウムなどの関連企画を展開する活動として2015年12月に沖縄市(コザ)で始まった。今回のお阪での開催は、2016年4月に明治大学で開催された「コザ暴動プロジェクトin東京」に続く、本土で2回目の企画である。

「コザ暴動」は、まだ沖縄が米軍統治下にあった1970年12月20日未明、嘉手納基地前のコザ市で発生した。そのきっかけは米兵が起こした交通事故であった。当時、米兵による凶悪事件や性暴力は頻発しており、容疑者は罪に問われないことすらあった。こうした不条理に対する住民の怒りはうっ積しており、この夜ついに暴動という形で爆発した。群衆は事故現場周辺に駐車されていたMPや米人の車両を次々と横転させ、それに放火した。数千人の群衆は路上を二手に分かれ、放火・投石しながら、米軍および琉球警察と対峙した。

「コザ暴動プロジェクト」はこうした民衆の行動をあえて「暴動」と呼ぶ。それは怒れる民衆を「暴徒」とみなす危うさをはらんでいるが、異民族支配に忍従してきた沖縄の人々が「暴動」によって表現せざるを得なかった怒りの意味を、今の沖縄と日本で改めて問い直す必要がなからうか。本企画の写真展とギャラリートークは、コザ暴動の「現場写真」の迫力とそれを撮影した写真家の肉声を通して、怒れる民衆の姿を大阪で再現する。

しかし、こうした「暴動」は沖縄でのみ起こったわけではない。本企画が開催される大阪では西成区の釜ヶ崎において日雇い労働者によって戦後24回もの「暴動」が発生している。戦前に目をやれば、首都東京でも1905年に日露戦争後の講和条約に反対する集会在大規模な「暴動」へと展開した「日比谷焼打ち事件」がある。本企画は「都市と暴動」をテーマとするシンポジウムにおいて、これら三都市で発生した「暴動」の歴史・地理的背景、展開過程、参加者属性、社会的意義を比較検討しつつ、なぜ都市は「暴動」を生み出し、なぜそれは今も語り継がれるべき出来事たりうるのかを考える。

なお、本企画の全てのイベントは一般に公開され、参加費は無料である。



左上
コザ暴動(1970年)
©吉岡 攻
左下
コザ暴動(1970年)
©國吉和夫
右上
第24次西成(釜ヶ崎)
暴動
(2008年)
右下
日比谷焼打ち事件
(1905年)



「コザ暴動」写真展

入館無料

2016.12.16(金) - 18(日) 10:00-18:00

大阪市立大学都市研究プラザ 船場アートカフェ
(辰野ひらのまちギャラリー)

541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 1-5-7 辰野平野町ビル地下1階

出展写真家：大城弘明、國吉和夫、平良孝七、比嘉豊光、比嘉康雄、松村久美、山城博明、吉岡 攻

フィールドワーク「西成(釜ヶ崎)暴動を歩く」

2016.12.17(土) 14:00-16:00

申込制

大阪市立大学都市研究プラザ 西成プラザ

557-0002 大阪市西成区太子 1-4-3 太子中央ビル3F

戦後24回発生した西成(釜ヶ崎)暴動に関する現場レクチャーと釜ヶ崎フィールドワーク

申込方法

定員は30名程度。それ以上は抽選します。12月10日(必着)までに下記連絡先に電子メールか(電話返信先を記した)葉書でお申し込みください。落選者には連絡します。

シンポジウム(人文地理学会政治地理研究部会第20回研究会)

2016.12.18(日) 13:30-18:00

大阪市立大学都市研究プラザ 船場アートカフェ
(辰野ひらのまちギャラリー)

541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 1-5-7 辰野平野町ビル地下1階

第1部 シンポジウム「都市と暴動—都市はいかに暴動を生み出したか」

パネラー 山田 寛(NPO釜ヶ崎支援機構理事長)
「転換点としての90年西成(釜ヶ崎)暴動」

藤野裕子(東京女子大学准教授)
「戦前東京の暴動と労働者文化」

山崎孝史(大阪市立大学教授、進行役)
「基地の街コザと暴動を語る論理」

第2部「コザ暴動」ギャラリートーク

パネラー 國吉和夫(写真家、元琉球新報記者)
小橋川共男(写真家)
比嘉豊光(写真家、雑誌編集者)
松村久美(写真家)
古堅宗光(元NPOコザまち社中幹事)
恩河 尚(沖縄国際大学非常勤、コメンテーター)
今 郁義(コザ暴動プロジェクト実行委員会、進行役)

アクセス



問い合わせ・連絡先

E-mail: yamatata@lit.osaka-cu.ac.jp (担当: 山崎孝史)
558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学大学院文学研究科
「コザ暴動プロジェクトin大阪」ホームページ: <http://polgeog.jp/archives/782>
人文地理学会政治地理研究部会: <http://polgeog.jp/studygroup/>